

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝乳癌EC

（対象疾病＝ ）

《初回開始日》 年 月 日
 今回〔 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 エンドキサン(CPA)	600mg/m ²	点静	30	↓																																
2 エピルビシン塩酸塩(EPI)	80mg/m ²	点静	全開	↓																																
3																																				
4																																				
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																
	デキサメタゾン	9.9mg	点静	↓																																
投与日程																																				
副作用																																				
1クール期間	21日	クール回数	術前・術後:4回																																	
休薬期間			再発進行癌:エピルビシン総投与量900~1000mg/m ² 程度まで																																	
☆予想される重篤副作用		骨髄抑制, 出血性膀胱炎, 心障害(エピルビシン総投与量800mg/m ² を超えたら心機能検査施行), 下痢, 嘔気・嘔吐, 脱毛																																		
☆副作用対策		白血球1,000以下, 好中球500以下の時, G-CSF投与 骨髄抑制のある場合は, 投与延期など。 嘔気対策としては5HT ₃ 拮抗剤, デキサメタゾンの前投薬で対処。脱毛にはかつらの用意。																																		
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	重篤な骨髄障害																																		

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝乳癌FEC80

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回〔 _____ 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 5-FU	500mg/m ²	点静	15	↓																														
2 エピルピシン塩酸塩(EPI)	80mg/m ²	点静	全開	↓																														
3 エンドキサン(CPA)	500mg/m ²	点静	30	↓																														
4																																		
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 点静 9.9mg 点静		↓ ↓																														
投与日程																																		
副作用																																		
1クール期間	21日	クール回数	※	※通常8～10回をめどに施行し、最大10クールまで。 (エピルピシンは総投与量900mg/m ² を超えるとうつ血性心不全等の心障害リスクが上昇)																														
休薬期間																																		
☆予想される重篤副作用		骨髄抑制, 出血性膀胱炎, 心障害, 下痢, 嘔気・嘔吐, 脱毛																																
☆副作用対策		白血球1,000以下, 好中球500以下の時、G-CSF投与 嘔気対策としてはデキサメタゾンの前投薬、5-HT ₃ 拮抗薬等の使用。																																
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝乳癌FEC100

（対象疾病＝ ）

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回[_____]クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
1 5-FU	500mg/m ²	点静	15	↓																															
2 エピルピシン塩酸塩(EPI)	100mg/m ²	点静	全開	↓																															
3 エンドキサン(CPA)	500mg/m ²	点静	30	↓																															
4																																			
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 点静 点静		↓ ↓																															
投与日程																																			
副作用																																			
1クール期間	21日	クール回数	※	※通常6～8回をめどに施行し、最大10クールまで。 (エピルピシンは総投与量900mg/m ² を超えるとうっ血性心不全等の心障害リスクが上昇)																															
休薬期間																																			
☆予想される重篤副作用		骨髄抑制, 出血性膀胱炎, 心障害, 下痢, 嘔気・嘔吐, 脱毛																																	
☆副作用対策		白血球1,000以下, 好中球500以下の時、G-CSF投与 嘔気対策としてはデキサメタゾンの前投薬、5-HT ₃ 拮抗薬等の使用。																																	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																		

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝乳癌Weekly PTX

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注 点静	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																													
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1 パクリタキセル (PTX)	80mg/m ²	点静	60	↓																													
2																																	
3																																	
4																																	
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																													
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																													
	ファモチジン	20mg	点静	↓																													
	ポララミン	5mg	点静	↓																													
投与日程																																	
副作用																																	
1クール期間	28日	クール回数																															
休薬期間																																	
☆予想される重篤副作用		骨髄抑制, アレルギー反応(発疹、発熱、掻痒など), 末梢神経障害, 爪の脱落																															
☆副作用対策		・デキサメタゾンなどの使用 ・手袋、靴下の使用																															
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	爪の脱落																															

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 《2クール目以降》乳癌HER[毎週]

(対象疾病 =)

《初回開始日》 年 月 日

今回 [] クール目

身長 = _____ cm

体重 = _____ kg

体表面積 = _____ m²

Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注 点静	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
1 ハーセプチン(HER) 《2クール目以降》	2mg/kg	点静	30	↓																																	
前投薬																																					
投与日程																																					
副作用																																					
1クール期間 休薬期間	7日	クール回数																																			
☆予想される 重篤副作用		心障害, 24時間以内に現れるInfusion reaction																																			
☆副作用対策		・開始前心エコーでEF50%以上 ・初回は入院してInfusion reaction に関して観察する。																																			
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																				

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 《1クール目》乳癌HER[3週毎]

（対象疾病 = _____）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回 [_____] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 ハーセプチン(HER) 《1クール目》	8mg/kg※	点静	90	↓																														
前投薬																																		
投与日程																																		
副作用																																		

※2クール目以降は6mg/kgで投与を行う。投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。
 なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	1※
休薬期間			
☆予想される 重篤副作用		心障害, 24時間以内に現れるInfusion reaction	
☆副作用対策		開始前心エコーでEF50%以上; 初回は入院してInfusion reaction に関して観察する。 白血球1,000以下、好中球500以下の時G-CSF製剤投与; 好中球500以下で、発熱38℃以上の時G-CSF製剤投与; 抗生剤の内服	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	白血球 < 2000 (Seg < 1000) 強いアレルギー反応の出現	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《1クール目》乳癌HER+WeeklyPTX

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																												
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
1 ハーセプチン(HER)《初回》	4mg/kg	点静	90	↓																												
ハーセプチン《2投目以降》	2mg/kg	点静	30																													
2 パクリタキセル(PTX)	80mg/m ²	点静	60	↓																												
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																												
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																												
	ファモチジン	20mg	点静	↓																												
	ポララミン	5mg	点静	↓																												
投与日程																																
副作用																																
1クール期間	28日	クール回数	1																													
休薬期間																																
☆予想される重篤副作用		ハーセプチン=心障害, 24時間以内に現れるInfusion reaction パクリタキセル=白血球減少, アレルギー反応(発疹、発熱、掻痒など), 末梢神経障害																														
☆副作用対策		・開始前心エコーでEF50%以上 ・初回は入院してInfusion reaction に関して観察する。 ・デキサメタゾン、ポララミンの使用 ・白血球1,000以下, 好中球500以下の時、G-CSF投与 ・好中球500以下で、発熱38℃以上の時G-CSF投与、抗生剤の内服。																														
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																															

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《2クール目以降》乳癌HER+WeeklyPTX

(対象疾病=)

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回[_____]クール目

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
1 ハーセプチン(HER) 《2クール目以降》	2mg/kg	点静	30	↓																																		
2 パクリタキセル(PTX)	80mg/m ²	点静	60	↓																																		
前投薬																																						
5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																		
デキサメタゾン	6.6mg	点静		↓																																		
ファモチジン	20mg	点静		↓																																		
ポララミン	5mg	点静		↓																																		
投与日程																																						
副作用																																						
1クール期間	28日	クール回数																																				
休薬期間																																						
☆予想される重篤副作用			ハーセプチン=心障害, 24時間以内に現れるInfusion reaction パクリタキセル=白血球減少, アレルギー反応(発疹、発熱、搔痒など), 末梢神経障害																																			
☆副作用対策			・開始前心エコーでEF50%以上 ・初回は入院してInfusion reaction に関して観察する。 ・デキサメタゾン、ポララミンの使用 ・白血球1,000以下, 好中球500以下の時、G-CSF投与 ・好中球500以下で、発熱38℃以上の時G-CSF投与、抗生剤の内服。																																			
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																					

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝乳癌VNR

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回 [_____] クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 ナベルピン(VNR) 生食 50mL	25mg/m ²	点静	10min以内	↓																														
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン 生食	1A 6.6mg 250mL	点静 点静 点静	60	↓																														
投与日程																																		
副作用																																		
1クール期間	21日	クール回数																																
休薬期間																																		
☆予想される 重篤副作用		白血球減少、好中球減少																																
☆副作用対策		デキサメタゾン、5-HT ₃ 拮抗薬の使用。G-CSF使用。 * 静脈炎(特徴的副作用)→出来るだけ太い静脈から10分以内で投与。その後補液で洗い流す。																																
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	WBC減少。																																

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 《1クール目》乳癌HER+VNR

(対象疾病 =)

《初回開始日》 年 月 日

今回 [] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
1 ハーセプチン(HER)《初回》	4mg/kg	点静	90	↓																																	
ハーセプチン《2投目以降》	2mg/kg	点静	30																																		
2 ナベルピン(VNR)	25mg/m ²	点静	10min以内	↓																																	
生食 50mL																																					
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 点静 6.6mg 点静		↓ ↓																																	
投与日程																																					
副作用																																					
1クール期間	21日	クール回数	1																																		
休薬期間																																					
☆予想される重篤副作用	ハーセプチン ナベルピン	心障害, 24時間以内に現れるInfusion reaction 白血球減少, 好中球減少																																			
☆副作用対策	ハーセプチン ナベルピン	・開始前心エコーでEF50%以上 ・初回は入院してInfusion reaction に関して観察する。 デキサメタゾン, 5-HT ₃ 拮抗薬の使用。G-CSF使用。 * 静脈炎(特徴的副作用)→出来るだけ太い静脈から10分以内で投与。その後補液で洗い流す。																																			
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																				

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 《2クール目以降》乳癌HER+VNR

(対象疾病 =)

《初回開始日》 年 月 日

今回 [] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
1 ハーセプチン(HER) 《2クール目以降》	2mg/kg	点静	30	↓																																	
2 ナベルピン(VNR) 生食 50mL	25mg/m ²	点静	10min以内	↓																																	
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 点静 6.6mg 点静		↓ ↓																																	
投与日程																																					
副作用																																					
1クール期間	21日	クール回数																																			
休薬期間																																					
☆予想される重篤副作用	ハーセプチン ナベルピン	心障害, 24時間以内に現れるInfusion reaction 白血球減少, 好中球減少																																			
☆副作用対策	ハーセプチン ナベルピン	・開始前心エコーでEF50%以上 ・初回は入院してInfusion reaction に関して観察する。 デキサメタゾン, 5-HT ₃ 拮抗薬の使用。G-CSF使用。 * 静脈炎(特徴的副作用) → 出来るだけ太い静脈から10分以内で投与。その後補液で洗い流す。																																			
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																				

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 《2クール目以降》乳癌HER+GEM

（対象疾病 = _____）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回 [_____] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 ゲムシタビン(GEM)	1,200mg/m ²	点静	30	↓																																
2 ハーセプチン(HER)	2mg/kg	点静	30	↓																																
《2クール目以降》																																				
前投薬																																				
5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																
デキサメタゾン	6.6mg	点静		↓																																
ファモチジン	20mg	点静		↓																																
投与日程																																				
副作用																																				
1クール期間	21日	クール回数																																		
休薬期間																																				
☆予想される重篤副作用		白血球減少、貧血、骨髄抑制 心障害, 24時間以内に現れるInfusion reaction																																		
☆副作用対策		Gradeの高い副作用出現時、次回より2割減量 開始前心エコーでEF50%以上 初回は入院してInfusion reaction に関して観察する。																																		
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	重篤な骨髄抑制など																																		

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝乳癌BEV+Weekly PTX

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回[_____]クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 アバステン(BEV)	10mg/kg	点静	30~90※	↓																																
2 パクリタキセル(PTX)	90mg/m ²	点静	60	↓																																
3																																				
4																																				
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																																
	ファモチジン	20mg	点静	↓																																
	ポララミン	5mg	点静	↓																																
投与日程																																				
副作用																																				
1クール期間	28日	クール回数		※アバステンは、初回投与時は、90分で点静、忍容性良好であれば、60分で点静可能。 2回目の投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。																																
休薬期間																																				
☆予想される重篤副作用		骨髄抑制、アレルギー反応(発疹、発熱、掻痒など)、末梢神経障害、爪の脱落 高血圧、たんぱく尿、出血、血栓塞栓、創傷治癒遅延、消化管穿孔、など																																		
☆副作用対策		・デキサメタゾン、ポララミンの使用 ・手袋、靴下の使用																																		
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	蛋白尿:Grade2,3で休薬 Grade4で中止、出血:Grade3以上で中止																																		

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝乳癌3週毎nab-PTX

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回[_____]クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																												
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
1 アブラキサン(nab-PTX)	260mg/m ²	点静	30	↓																												
2																																
3																																
4																																
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																												
	デキサメタゾン	13.2mg	点静	↓																												
投与日程																																
副作用																																
1クール期間	21日	クール回数																														
休薬期間																																
☆予想される重篤副作用		骨髄抑制、末梢神経障害																														
☆副作用対策		頻回に臨床検査を実施、減量、休薬、G-CSF投与 ビタミン製剤(B1,B6)の投与(海外第Ⅲ相試験)																														
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																															

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝《1クール目》乳癌HER+エリブリン

（対象疾病＝ ）

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長＝ cm

体重＝ kg

体表面積＝ m²

Ccr ＝

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30							
1 ハラヴェン	1.4mg/m ²	点静	2～5	↓																																				
2 ハーセプチン(HER)《初回》	4mg/kg	点静	90	↓																																				
ハーセプチン《2投目以降》	2mg/kg	点静	30																																					
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																				
投与日程																																								
副作用																																								
1クール期間	21日	クール回数	1																																					
休薬期間																																								
☆予想される重篤副作用		好中球減少、白血球減少、発熱性好中球減少、感染症、末梢神経障害、間質性肺炎 心障害、24時間以内に現れるInfusion reaction																																						
☆副作用対策		G-CSF、抗生剤投与 休薬、減量(1.4mg/m ² →1.1mg/m ² 、1.1mg/m ² →0.7mg/m ²) 開始前心エコーでEF50%以上、初回は入院してInfusion reactionに関して観察する。																																						
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	ALT,AST>施設基準値上限の5倍、総ビリルビン>施設基準値上限の3倍 好中球数<1000、血小板数<75000																																						

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《2クール目以降》乳癌HER+エリブリン

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長= _____ cm

体重= _____ kg

体表面積= _____ m²

Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
1 ハラヴェン	1.4mg/m ²	点静	2~5	↓																																	
2 ハーセプチン(HER) 《2クール目以降》	2mg/kg	点静	30	↓																																	
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																	
投与日程																																					
副作用																																					
1クール期間	21日	クール回数																																			
休薬期間																																					
☆予想される 重篤副作用				好中球減少、白血球減少、発熱性好中球減少、感染症、末梢神経障害、間質性肺炎 心障害、24時間以内に現れるInfusion reaction																																	
☆副作用対策				G-CSF、抗生剤投与 休薬、減量(1.4mg/m ² →1.1mg/m ² 、1.1mg/m ² →0.7mg/m ²) 開始前心エコーでEF50%以上、初回は入院してInfusion reactionに関して観察する。																																	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他			ALT,AST>施設基準値上限の5倍、総ビリルビン>施設基準値上限の3倍 好中球数<1000、血小板数<75000																																	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝《1クール目》乳癌3週毎HER+エリ布林

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

身長＝ _____ cm

体重＝ _____ kg

体表面積＝ _____ m²

Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
1 ハラヴェン	1.4mg/m ²	点静	2～5	↓																															
2 ハーセプチン(HER)《初回》	8mg/kg※	点静	90	↓																															
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																															
投与日程																																			
副作用																																			

※2クール目以降は6mg/kgで投与を行う。投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。
 なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	1
休薬期間			
☆予想される重篤副作用		好中球減少、白血球減少、発熱性好中球減少、感染症、末梢神経障害、間質性肺炎 心障害、24時間以内に現れるInfusion reaction	
☆副作用対策		G-CSF、抗生剤投与 休薬、減量(1.4mg/m ² →1.1mg/m ² 、1.1mg/m ² →0.7mg/m ²) 開始前心エコーでEF50%以上、初回は入院してInfusion reactionに関して観察する。	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	ALT,AST>施設基準値上限の5倍、総ビリルビン>施設基準値上限の3倍 好中球数<1000、血小板数<75000	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝《2クール目以降》乳癌3週毎HER+エリブリン

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

身長＝ _____ cm

体重＝ _____ kg

体表面積＝ _____ m²

Ccr ＝ _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 ハラヴェン	1.4mg/m ²	点静	2～5	↓																																
2 ハーセプチン(HER) 《2クール目以降》	6mg/kg※	点静	30	↓																																
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																
投与日程																																				
副作用																																				

※2クール目以降は6mg/kgで投与を行う。投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。
 なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	
休薬期間			
☆予想される重篤副作用		好中球減少、白血球減少、発熱性好中球減少、感染症、末梢神経障害、間質性肺炎 心障害、24時間以内に現れるInfusion reaction	
☆副作用対策		G-CSF、抗生剤投与 休薬、減量(1.4mg/m ² →1.1mg/m ² 、1.1mg/m ² →0.7mg/m ²) 開始前心エコーでEF50%以上、初回は入院してInfusion reactionに関して観察する。	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	ALT,AST>施設基準値上限の5倍、総ビリルビン>施設基準値上限の3倍 好中球数<1000、血小板数<75000	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝乳癌CMF

（対象疾病＝ ）

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 エンドキサン(CPA)	100mg/body	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓																			
2 メントレキセート(MTX)	40mg/m ²	点静	30	↓							↓																							
3 5-FU	600mg/m ²	点静	15	↓							↓																							
4																																		
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓							↓																							
	デキサメタゾン	8.25mg	点静	↓							↓																							
投与日程																																		
副作用																																		
1クール期間	28日	クール回数	6※	※アジュバント時																														
休薬期間																																		
☆予想される重篤副作用		脱毛、嘔気、白血球減少、口内炎																																
☆副作用対策		白血球1,000以下, 好中球500以下の時、G-CSF投与 嘔気対策としてはデキサメタゾンの前投薬、5-HT ₃ 拮抗薬等の使用。																																
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《1クール目》乳癌PER+3週毎HER

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
1 パーシエタ(PER)《初回》	840mg※1	点静	60	↓																															
2 ハーセプチン(HER)《初回》	8mg/kg※2	点静	90	↓																															
前投薬																																			
投与日程																																			
副作用																																			

※1:2クール目以降は420mgで投与を行う。投与予定日より6週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の840mgで投与を行う。
 ※2:2クール目以降は6mg/kgで投与を行う。投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。
 なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	1
休薬期間			
☆予想される 重篤副作用		発熱性好中球減少症、白血球減少、Infusion reaction、アナフィラキシー・過敏症、間質性肺炎、左室機能不全、下痢、心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction	
☆副作用対策		開始前心エコーでEF50%以上; 初回時は入院してInfusion reactionについて監視 白血球1,000以下、好中球500以下の時G-CSF投与; 好中球500以下で、発熱38℃以上の時G-CSF投与; 抗生剤の内服	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	強いアレルギー反応の出現	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 《2クール目以降》乳癌PER+HER

(対象疾病 =)

《初回開始日》 年 月 日

今回 [] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
1 パーージェタ(PER)《2投目以降》	420mg※1	点静	30	↓																															
2 ハーセプチン(HER)《2投目以降》	2mg/kg	点静	30	↓																															
前投薬																																			
投与日程																																			
副作用																																			

※1:2クール目以降は420mgで投与を行う。投与予定日より6週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の840mgで投与を行う。

なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	
休薬期間			
☆予想される 重篤副作用		発熱性好中球減少症、白血球減少、Infusion reaction、アナフィラキシー・過敏症、間質性肺炎、左室機能不全、下痢、心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction	
☆副作用対策		開始前心エコーでEF50%以上；初回時は入院してInfusion reactionについて監視 白血球1,000以下、好中球500以下の時G-CSF投与；好中球500以下で、発熱38°C以上の時G-CSF投与；抗生剤の内服	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	強いアレルギー反応の出現	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名 = 《1クール目》乳癌PER+HER+WeeklyPTX

(対象疾病 =)

《初回開始日》 年 月 日

今回 [] クール目

身長 = _____ cm
 体重 = _____ kg
 体表面積 = _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
1 パーージェタ(PER)《初回》	840mg※1	点静	60	↓																																	
2 ハーセプチン(HER)《初回》	4mg/kg	点静	90	↓																																	
ハーセプチン《2回目以降》	2mg/kg	点静	30																																		
3 パクリタキセル(PTX)	80mg/m ²	点静	60	↓																																	
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																	
	デキサメタゾン	6.6mg	点静	↓																																	
	ファモチジン	20mg	点静	↓																																	
	ポララミン	5mg	点静	↓																																	
投与日程																																					
副作用																																					

※1:2クール目以降は420mgで投与を行う。投与予定日より6週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の840mgで投与を行う。

1クール期間	28日	クール回数	1
休薬期間			
☆予想される重篤副作用		発熱性好中球減少症、白血球減少、Infusion reaction、アナフィラキシー・過敏症、間質性肺炎、左室機能不全、下痢、心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction アレルギー反応(発疹、発熱、掻痒など)、末梢神経障害	
☆副作用対策		開始前心エコーでEF50%以上; 初回時は入院してInfusion reactionについて監視 デキサメタゾン、ポララミンの投与 白血球1,000以下、好中球500以下の時G-CSF投与; 好中球500以下で、発熱38°C以上の時G-CSF投与; 抗生剤の内服	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	強いアレルギー反応の出現	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝《2クール目以降》乳癌PER+HER+WeeklyPTX

（対象疾病＝ ）

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
1 パーージェタ(PER)《2クール目以降》	420mg※1	点静	30	↓																															
2 ハーセプチン(HER)《2クール目以降》	2mg/kg	点静	30	↓													↓						↓												
3 パクリタキセル(PTX)	80mg/m ²	点静	60	↓													↓																		
前投薬																																			
5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																															
デキサメタゾン	6.6mg	点静		↓																															
ファモチジン	20mg	点静		↓																															
ポララミン	5mg	点静		↓																															
投与日程																																			
副作用																																			

※1:2クール目以降は420mgで投与を行う。投与予定日より6週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の840mgで投与を行う。

1クール期間	28日	クール回数	
休薬期間			
☆予想される重篤副作用		発熱性好中球減少症、白血球減少、Infusion reaction、アナフィラキシー・過敏症、間質性肺炎、左室機能不全、下痢、心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction アレルギー反応(発疹、発熱、掻痒など)、末梢神経障害	
☆副作用対策		開始前心エコーでEF50%以上; 初回時は入院してInfusion reactionについて監視 デキサメタゾン、ポララミンの投与 白血球1,000以下、好中球500以下の時G-CSF投与; 好中球500以下で、発熱38℃以上の時G-CSF投与; 抗生剤の内服	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	強いアレルギー反応の出現	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《1クール目》乳癌PER+3週毎HER+VNR

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30							
1 パーージェタ(PER)《初回》	840mg※1	点静	60	↓																																				
2 ハーセプチン(HER)《初回》	8mg/kg※2	点静	90	↓																																				
3 ナベルピン(VNR) 生食 50mL	25mg/m ²	点静	10min以内	↓																																				
前投薬 5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 6.6mg	点静 点静		↓ ↓																																				
投与日程																																								
副作用																																								

※1: 2クール目以降は420mgで投与を行う。投与予定日より6週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の840mgで投与を行う。
 ※2: 2クール目以降は6mg/kgで投与を行う。投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。
 なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	1
休薬期間			
☆予想される重篤副作用		発熱性好中球減少症、白血球減少、Infusion reaction、アナフィラキシー・過敏症、間質性肺炎、左室機能不全、下痢、心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction 好中球減少症、静脈炎	
☆副作用対策		開始前心エコーでEF50%以上; 初回時は入院してInfusion reactionについて監視 白血球1,000以下、好中球500以下の時G-CSF投与; 好中球500以下で、発熱38℃以上の時G-CSF投与; 抗生剤の内服 ナベルピン: できるだけ太い静脈から投与。その後補液で洗い流す。	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	強いアレルギー反応の出現	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《1クール目》乳癌PER+3週毎HER+エリブリン

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長= _____ cm

体重= _____ kg

体表面積= _____ m²

Ccr = _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30							
1 パーージェタ(PER)《初回》	840mg※1	点静	60	↓																																				
2 ハーセプチン(HER)《初回》	8mg/kg※2	点静	90	↓																																				
3 ハラヴェン	1.4mg/m ²	点静	2~5	↓																																				
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静	↓																																				
投与日程																																								
副作用																																								

※1:2クール目以降は420mgで投与を行う。投与予定日より6週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の840mgで投与を行う。

※2:2クール目以降は6mg/kgで投与を行う。投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与を行う。

なお、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与する。

1クール期間	21日	クール回数	1
休薬期間			
☆予想される重篤副作用		発熱性好中球減少症、白血球減少、Infusion reaction、アナフィラキシー・過敏症、間質性肺炎、左室機能不全、下痢 心障害、24時間以内に発現するInfusion reaction 好中球減少症、感染症、末梢神経障害、間質性肺炎	
☆副作用対策		開始前心エコーでEF50%以上; 初回時は入院してInfusion reactionについて監視 白血球1,000以下、好中球500以下の時G-CSF投与; 好中球500以下で、発熱38℃以上の時G-CSF投与; 抗生剤の内服 休薬、減量(1.4mg/m ² →1.1mg/m ² 、1.1mg/m ² →0.7mg/m ²)	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	ALT,AST>施設基準値上限の5倍、総ビリルビン>施設基準値上限の3倍 好中球数<1000、血小板数<75000 強いアレルギー反応の出現	

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝乳癌Weekly nab-PTX+アテゾリズマブ

（対象疾病＝ _____ ）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回〔 _____ 〕クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30							
1 テセントリク(アテゾリズマブ)	840mg/body	点静	60※	↓													↓																							
2 アブラキサン(nab-PTX)	100mg/m ²	点静	30	↓													↓																							
3																																								
4																																								
前投薬																																								
5-HT ₃ 拮抗薬	1A	点静		↓																																				
デキサメタゾン	6.6mg	点静		↓																																				
投与日程																																								
副作用																																								
1クール期間	28日	クール回数		※初回投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。																																				
休薬期間																																								
☆予想される重篤副作用		テセントリク:間質性肺疾患、大腸炎、肝機能障害、腎機能障害、内分泌障害、infusion reaction等 適宜レントゲン撮影・CT検査の実施																																						
☆副作用対策		対症療法、減量、休薬、infusion reactionの対策は適正使用ガイド(テセントリク)参照																																						
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	PSの低下、高Gradeの副作用 減量基準: SEG<500または<1500のため7日間以上延期した場合、FN、PLT<50000 各コースの開始基準: day1; SEG≥1500、PLT≥100000、day8、15; SEG≥1000、PLT≥75000																																						

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《1クール目》乳癌CAP+HER

(対象疾病=)

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長= _____ cm
 体重= _____ kg
 体表面積= _____ m²
 Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注 経口	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																												
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
1 ハーセプチン(HER)《初回》	4mg/kg	点静	90	↓																												
2 ハーセプチン《2投目以降》	2mg/kg	点静	30														↓															
ゼローダ(CAP):A法	1,650mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓									
体表面積																																
★ゼローダ 1.31m未満	900mg × 2回/日																															
1.31~1.64m未満	1,200mg × 2回/日																															
1.64m以上	1,500mg × 2回/日																															
前投薬																																
投与日程																																
副作用																																
1クール期間	28日	クール回数																														
休薬期間																																
☆予想される 重篤副作用	ハーセプチン ゼローダ	心障害, 24時間以内に現れるInfusion reaction 手足症候群(hand-foot syndrome)、肝障害																														
☆副作用対策	ハーセプチン ゼローダ	心機能評価(心エコー、MUGAスキャン) ・初回は入院してInfusion reaction に関して観察する。 手足症候群対策: 保湿クリーム(1日5回)、ビタミンB6(60mg/day連日投与)、減量、休薬																														
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																															

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名=《2クール目以降》乳癌CAP+HER

（対象疾病= _____）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日

今回[_____]クール目

身長= _____ cm

体重= _____ kg

体表面積= _____ m²

Ccr = _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与方法 点静・静注 点静 経口	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
1 ハーセプチン《2投目以降》	2mg/kg	点静	30	↓													↓																		
2 ゼローダ(CAP):A法	1,650mg/m ² *	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
体表面積																																			
★ゼロータ 1.31m未満	900mg × 2回/日																																		
1.31~1.64m未満	1,200mg × 2回/日																																		
1.64m以上	1,500mg × 2回/日																																		
前投薬																																			
投与日程																																			
副作用																																			
1クール期間	28日	クール回数																																	
休薬期間																																			
☆予想される重篤副作用	ハーセプチン ゼロータ	心障害, 24時間以内に現れるInfusion reaction 手足症候群(hand-foot syndrome)																																	
☆副作用対策	ハーセプチン ゼロータ	心機能評価(心エコー、MUGAスキャン) ・初回は入院してInfusion reaction に関して観察する。 手足症候群対策:保湿クリーム(1日5回)、ビタミンB6(60mg/day連日投与)、減量、休薬																																	
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																		

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝骨転移癌ゾメタ（ゾレドロン酸）

（対象疾病＝ ）

《初回開始日》 年 月 日

今回〔 〕クール目

身長＝ _____ cm

体重＝ _____ kg

体表面積＝ _____ m²

Ccr ＝ _____

担当医

--	--

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 ゾメタ(ゾレドロン水和物) (腎機能低下時はCcrに応じて減量)	4mg/body	点静	30	↓																														
	Ccr(mL/min)	>60	50-60	40-49	30-39																													
	推奨用量(mg/body)	4	3.5	3.3	3																													
投与日程																																		
副作用前投薬																																		
1クール期間 休薬期間	※	クール回数	制限なし	※固形癌骨転移による骨病変: 3~4週間間隔																														
☆予想される 重篤副作用		急性腎不全、心不全、顎骨壊死、低カルシウム血症																																
☆副作用対策		薬剤投与中止、対症療法																																
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他	臨床症状にて判断																																

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝乳癌リュープリン

（対象疾病＝ _____）

《初回開始日》 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 今回[_____]クール目

身長＝ _____ cm
 体重＝ _____ kg
 体表面積＝ _____ m²
 Ccr ＝ _____

担当医	

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
1 リュープリン(リュープリリン酢酸塩) ★注射用SR 11.25 注射用 3.75	★ 11.25mg/body 3.75mg/body	皮下 12週毎 4週毎	↓																																	
投与日程																																				
副作用 前投薬																																				
1クール期間 休薬期間		クール回数																																		
☆予想される 重篤副作用		アレルギー反応、発汗、ほてり、皮膚障害、注射部位障害（注射部位硬結など）																																		
☆副作用対策		注射部位を毎回変更する、注射部位をもまない																																		
☆実施中止条件	生化学項目 副作用 その他																																			